



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
6月9日
発行

第181回

「政府は水素基本戦略を改定」

～水素関連株に注目～

初めに

最近では当レポートで脱炭素問題を取り上げることは少なくなっています。世界的なインフレや金融機関の破綻、米国の債務上限問題、さらに日経平均の高値更新など、重要ニュースが飛び交う中ではそれも仕方ないでしょう。しかし、これらのニュースも最近はやや少なくなったように思えます。そこで、今回は久しぶりに脱炭素問題を取り上げます。

岸田内閣は水素基本戦略を改定

6月4日付け日本経済新聞は、「水素供給網15兆円投資 装置・素材など支援 政府、基本戦略を改定へ」と題する記事を掲載しました。政府は次世代の脱炭素燃料として有力な水素の供給を増やすため、新たな基本戦略を決めました。サプライチェーンを整備するため、今後15年間で官民合わせて15兆円の大型投資を予定している、とのことです。これは、2017年に策定してからの初めての改定です。岸田首相としては、広島サミットが成功し、今後は脱炭素に力を入れようとの狙いかもしれません。

水素のメリット・デメリット

水素のメリットは、何といたってもCO2を発生させないことです。究極のCO2対策、ということもできるでしょう。また、余剰電力がある時に水を電気分解して水素を生産・貯蔵しておき、電力が不足した時に水素を使用して発電を行うことができます。デメリットは、水素には金属を侵食・脆化（ぜいか）させる働きがあるため、貯蔵に専用の容器が必要なこと、また、エネルギー効率が高く、事故の際の被害が大きくなりやすい、ということです。

シンガポールとの協力

5月25日付け日本経済新聞は、日本とシンガポールが水素で協力する、という記事を掲載しました。水素先進国のシンガポールは脱炭素の取り組みにおいて日本との協力を強く望んでいる、とのことです。この分野における日本とシンガポールの協力が実現すれば、日本から東南アジアにかけての水素の使用の広がりが期待できると思います。

終わりに

このように、水素は次世代のエネルギーとして注目されています。ご参考までに、主な水素関連株を掲げておきます。ENEOS、川崎重工業、岩谷産業、INPEX、日揮HD、トクヤマ、日本酸素HD。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。